

2021 年度第 1 回研修委員会議事録

日 時：令和 3 年 4 月 28 日（水） 15：00 ～ 16：30

場 所：オンライン開催

出席者：古賀理恵子（慶應義塾大学）、中田真美子（専修大学）、金津有紀子・和田貴敏（中央大学）
桑原理恵（明治大学）、可児千裕（早稲田大学）、島田貴司・吉水拓哉（立正大学）

【敬称略／順不同】

議 長：古賀理恵子（委員長）

議 題：

1. 研修会のテーマについて

研修会のテーマについて、「ウィズ/ポストコロナにおける大学図書館」を軸に各委員が調べた内容を報告しあった。主な内容は以下の通り。

- ・オンラインによる利用者教育（情報発信/講習会等）に関する事例
- ・オンラインレファレンスの事例
- ・非来館型のサービス（宅配貸出/展示）の事例
- ・オンラインリソースの購入に関する事例
- ・学生団体による活動（動画作成/EB作成）の事例
- ・コロナ禍への早期からの対応事例

コロナ禍における各大学図書館の工夫についての事例が多数挙げられた。従来の研修会では基調講演を設けていたが、オンラインでの開催の為、事例（20～40分/5～6本程度）を中心に組み立てる方向になった。今回は、東地区の私立大学の事例だけでなく、全国の国公立大学の事例から幅広く情報を集め、研修会の組み立てについては利用者サービスの事例を中心に集めて絞ることにした。開催時期については、10月中旬～下旬頃を目安に実施する。

次回の研修委員会までに引き続きメール等で意見交換を行い、ファイル共有サービスを用いることにした。次回（第2回）は5月下旬に開催予定。

2. その他

研究部担当理事校より、今年度の研究部の活動等について下記の説明を行なった。

- ・研究部運営委員会はオンライン開催やメール審議によって実施する。
- ・東地区部会総会はメール審議によって実施する。
- ・上記と併せて開催される館長会は中止する。
- ・講演会は6月5日（土）にオンライン開催を予定している。
- ・オンライン会議アプリのアカウント購入を検討している。

委員より研究分科会と研修分科会の今年度の活動について質問があった。研究分科会は和漢古典籍研究分科会の1団体のみが活動している。そのため、年末に実施を予定していた研究報告会を中止し代わりに報告書の提出となる。研修分科会は例年通りの応募があり、オンラインで実施する。

以上